

製品名: PKC beta 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00034**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 77 kDa; Observed MW: 77 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKCB
別名	PRKCB; PKCB; PRKCB1; Protein kinase C beta type; PKC-B; PKC-beta
遺伝子 ID	5579
SwissProt ID	P05771
免疫原	ヒト PKC ベータ 2 の合成ペプチド

背景

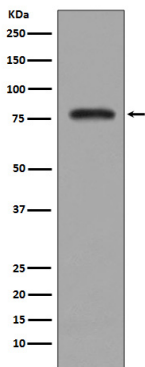
カルシウム活性化リン脂質およびジアシルグリセロール（DAG）依存性セリン / スレオニンタンパク質キナーゼは、B 細胞受容体

(BCR) シグナルソームの調節、酸化ストレス誘導性アポトーシス、アンドロゲン受容体依存性転写調節、インスリンシグナル伝達、内皮細胞増殖など、様々な細胞プロセスに関与しています。BCR 誘導性 NF- κ B 活性化を調節することにより、B 細胞活性化において重要な役割を果たします。CARD11/CARMA1 の「Ser-559」、「Ser-644」、および「Ser-652」を直接リン酸化することにより、標準的な NF- κ B 経路 (NFKB1) の活性化を媒介します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



PKC ベータ 2 抗体を使用した K562 溶解物中の PKC ベータ 2 のウェスタン プロット分析